

山手台中だより ～希望に燃えて～



R6 年度
創立記念日
特別号

31回目の創立記念日

学校長 井川 勝博

11月22日は、本校の創立記念日となっています。今年は31回目（第1回は開校当年）の記念日になります。周年としては本年度が30周年になります。明治5（1872）年8月に「学制」が發布され、全国に学校が整備され近代教育がスタートしました。一昨年、昨年にかけて、宝塚市内の小学校でも150周年記念式典が開かれています。学制が發布されてから120年あまり後の平成6（1994）年4月1日に宝塚市立中学校の12番目の中学校として本校が誕生しています。平成6年度当時は、1年生60名、2年生64名の全校生徒124名の在籍でした。開校2年目の平成7年度に第1期生（開校当時の2年生）の卒業式が行われ、昨年度までに2742名の先輩方が本校を卒業されています。現在（令和6（2024）年11月21日時点）、1年生179名、2年生173名、3年生196名の全校生徒548名が本校に在籍しています。今年の3年生は本校30期生、卒業証書授与式は第30回になります。

開校当初よりの学校教育目標「未来を創造するための基礎的な力を持ち、人間性豊かな生徒を育成する ～自らが考え、自ら行動する生き生きとした生徒の育成～」のもと、次世代を担う生徒の育成をめざしています。30年前とは教育も大きく変遷しています。たとえば、ICT機器をひとつとってもちます。いまや一人一台端末が当たり前の時代です。「予測困難な時代」「持続可能な社会」「令和の日本型教育」「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」などなど教育的なことばも様々な新しいものがあります。その時代によって社会が変わるのは当たり前のことであり、それによって教育の方法なども変わっていくかもしれません。それでも変えてはならないことは「ひとりひとりの生徒のためのよりよい学校づくり」をすることだと考えます。これからも長きにわたり、多くの生徒を迎え入れる学校として、より素晴らしい学校になれるよう力を入れていかなければならないと強く感じています。

本校校章には

多くの緑の樹々に囲まれ、みんなと共に手と手を取り合い、

希望に燃えて高く大きく伸びる山手台中学校

鋭さとたくましさを秘め、どっしりと腰を据えた長尾山連山、

未来に向かって高く大きく伸びる山手台中学校

の意味が込められています。

本校校歌は、

知徳体の調和のとれた未来を担う生徒の育成をめざし、1（徳）・2（体）・3（知）をうたい、

また「ああ友と集う」と「我ら」を繰り返すことで、愛校心を強調している

とのことです。

